## 令和5年度 事後評価シート

## 【事務事業シート(政策的経費)】 1 当初 事 項 えひめ版STEAM教育研究開発事業費

			め $m$ STFAM $\sharp$	数音研	究開発事業費					予算:	- 管課	高校教育課
			等横断型・課題解決			グ教育等	等を融合させた「え	ひめ版9	STEAM教	始		R4
	事業	育」	を確立し、「多面的	に学び	、考える力」を育成	成して	「新しい学びのスタ	イル」を	を県下に普			
	概要	及す	ることにより、就職	・進学	指導の強化を図る。					終	期	R6
		実践	校3校での全国	コンテ	スト入賞件数							
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 周	支		R 8 年 度
	KPI	時点・期間	R2年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度
	KPI			目標値	30 件	目標値	35 <mark>件</mark>	目標値	_	件	目標値	— <mark>件</mark>
		現状値	12 件	実績値	37 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
				達成率	123.33 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				最終現計予 算額	9,856 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			スト	決算額	6,661 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
	要因分	分析	※終期短縮(R6→ 総括(事業最終年原 事業終期は6年度で	度の場合	•	最終目	標を達成しており、	当初の	)目標を達成	したこと	から廃止る	<b>ーーーーー</b> することとした。
5 年 度	見直しフ		見	直し内	容の説明(維持・原	廃止・改	文善・大幅見直し( <sup>)</sup>	事業組替	<b>善等))</b>			
当初	事 項	えひ	め高校生次世代	人材育	成事業費					予算主	巨管課	高校教育課
当初			<b>め高校生次世代</b> 。 の次世代リーダ-			して、	世界的な視野で	 発想、	思考、行	予算主		高校教育課 H28
当初	事業	日本		 -養成	塾への参加を通	して、	世界的な視野で	 発想、	思考、行		期	
当初	事業	日本動で	の次世代リーダー きる次世代を担	ー養成 う人材	塾への参加を通 の育成を図る。					始終	期期	H28
当初	事業	日本動で	の次世代リーダー きる次世代を担う 研修会及び報告会に	一養成 う人材 :参加し	整への参加を通 の育成を図る。 た生徒において、1		よ視野、発想、思考		意欲が湧いた	始 終 <b>こ生徒の</b> 害	期期	H28 R05
当初	事 業 概 要	日本動で	の次世代リーダー きる次世代を担 研修会及び報告会に 上がると良い指標	一養成 う人材 :参加し	整への参加を通 の育成を図る。 <b>た生徒において、1</b> R 5 年 度	世界的な	<b>ぶ視野、発想、思考</b> R 6 年度		<b>意欲が湧いた</b> R 7 年 ß	始 終 <b>こ生徒の</b> 害	期 期 <b>  合</b>	H28 R05 R 8 年 度
当初	事業	日本 動で 事後は KPI種別	の次世代リーダー きる次世代を担う 研修会及び報告会に	一養成 う人材 :参加し	整への参加を通 の育成を図る。 <b>た生徒において、1</b> R 5 年 度 R 5 年度		な <b>視野、発想、思考</b> R 6 年 度 R 6 年度	を持つ。	<b>意欲が湧いた</b> R 7 年 B R 7年度	始 終 <b>き生徒の害</b> 度	期 期 <b>  合</b>	H28 R05 R 8 年 度 R 8年度
当初	事 業 概 要	日本 動で 事後は KPI種別	の次世代リーダー きる次世代を担 い で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	一養成 う人材 ・参加し	塾への参加を通 の育成を図る。 た生徒において、1 R 5 年 度 R 5 年度 72 <mark>%</mark>	世界的力 時点·期間 目標値	<b>☆視野、発想、思考</b> R 6 年 度 R 6 年度 73 <mark>%</mark>	を持つ。 時点・期間 目標値	意 <b>欲が湧いた</b> R 7 年 月 R 7年度 74	始 終 <b>き生徒の害</b> 度	期期	H28 R05 R 8 年 度
当初	事 業 概 要	日本 動で <b>事後社</b> KPI種別 <sub>時点・期間</sub>	の次世代リーダー きる次世代を担意 <b>研修会及び報告会に</b> 上がると良い指標 R 4 年度	ー養成 う人材 <b>参加し</b> <sub>時点・期間</sub> 目標値	塾への参加を通 の育成を図る。 た生徒において、1 R 5 年 度 R 5 年度 72 % 72 %	世界的な	R 6 年 度 R 6 年度 R 6 年度 73 %	を持つ記 時点・期間	意 <b>欲が湧いた</b> R 7 年 月 R 7年度 74	始 終 <b>き生徒の害</b> 度	期 期 合 時点·期間 目標値	H28 R05 R 8 年 度 R 8 年度 75 %
当初	事 業 概 要	日本 動で 事後 KPI種別 時点・期間 現状値	の次世代リーダー きる次世代を担 <b>研修会及び報告会に</b> 上がると良い指標 R 4年度 70.6 %	一養成 う人材 参加し 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	塾への参加を通の育成を図る。 <pre>た生徒において、1 R 5 年度 R 5 年度 72 % 72 % 100.00 %</pre>	世界的力 時点 期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	R 6 年 度 R 6 年度 R 6 年度 73 % %	を持つが 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	意 <b>欲が湧いた</b> R 7 年 月 R 7 年度 74	始 終 <b>生生徒の害</b> 後 % %	期 <b>                   </b>	H28 R05 R 8 年 度 R 8 年度 75 % %
当初	事 業 概 要	日本 動で 事後 KPI種別 時点・期間 現状値	の次世代リーダー きる次世代を担 い で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ー養成 う人材 参加し <sup>時点・期間</sup> 目標値 実績値 達成率	塾への参加を通の育成を図る。 <pre>た生徒において、1 R 5 年度 R 5 年度 72 % 72 % 100.00 % 1,824 千円</pre>	世界的な 時点・期間 目標値 実績値 達成率	R 6 年 度 R 6 年度 73 % % % %	を持つ 時点・期間 目標値 実績値 達成率	意欲が湧いた R 7 年 原 R 7 年度 74	始 終 <b>生徒の害</b> 後 % % %	期 期	H28 R05 R 8 年 度 R 8 年度 75 % %
当初	事 業 概 要	日本 動で <b>事後</b> KPI種別 時点・期間	の次世代リーダー きる次世代を担 研修会及び報告会に 上がると良い指標 R4年度 70.6 %	一養成 う人材 参加し 時点・期間 目標値 実績成率 最終現題 決算額 2100%	塾への参加を通の育成を図る。 <pre>た生徒において、1 R 5 年度 R 5 年度 72 % 72 % 100.00 % 1,824 千円</pre>	世界的力 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現題十予 算額 決算額	R 6 年 度 R 6 年度 73 % % % 千円	を持つが 時点・期間 目標値 実績値 達成率 <sup>最終現計予</sup> 質額	意欲が湧いた R 7 年 原 R 7 年度 74	始 終 <b>生生徒の害</b> 後 % %	期	H28 R05 R 8 年 度 R 8 年度 75 % % % %
当初	事 概 KPI	日本 動で 事後 (KPI種別 時点・期間 現状値	の次世代リーダー きる次世代を担意 <b>研修会及び報告会に</b> 上がると良い指標 R 4年度 70.6 %	一養成 参加し 時点 標値 実 達成 景 東 景 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	塾への参加を通の育成を図る。 た生徒において、1 R5年度 R5年度 72% 72% 100.00% 1,824千円 1,657千円 6未満」の場合、要	世界的力 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現題十予 算額 決算額	R 6 年 度 R 6 年度 73 % % % 千円	を持つが 時点・期間 目標値 実績値 達成率 <sup>最終現計予</sup> 質額	意欲が湧いた R 7 年 原 R 7 年度 74	始 終 <b>生徒の害</b> 後 % % %	期	H28 R05 R 8 年度 R 8 年度 75 % % % %
当初 5 年	事 概 KPI	日本 動で 事後 (KPI種別 時点・期間 現状値	での次世代リーダー きる次世代を担意 所修会及び報告会に 上がると良い指標 R4年度 70.6 % スト 評価年度(「達成型 ※終期短縮(なしー	一	整への参加を通の育成を図る。 <b>た生徒において、1</b> R 5 年 度 R 5 年度 72 % 72 % 100.00 % 1,824 千円 1,657 千円 6未満」の場合、要  る、要記入。) 成塾に参加した生徒	世界的な 時点・期間 目標値 実達成 <sup>現額</sup> 決入。	A視野、発想、思考         R 6 年度       R 6 年度         73 %       %         %       千円         千円       千円	を持つ。 時点・期間 目標値 実績成率 最終。算額 決算額	意欲が湧いた R 7 年 月 R 7 年度 74	始終 <b>全生徒の害</b> <b>%</b> <b>%</b> <b>%</b> 千円 千円	期	H28 R05 R 8 年度 R 8 年度 75 % % % %

当初	事 項	えひ	め高等学校プログ	グラミング	グ教育推進事	業費				予算主	管課	高校教育課
	事業		スキルのコンテスト							始	期	R5
	概要		-等を通じて、情報			点を置し	ハた教員の指導力の	句上を図	図り、愛媛	終 	 <b>≓</b> 日	R8
			kを担うデジタル人							/\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot	- V	INO
			国規模のプログラ			ト等で	の入資件数					
		KPI種別	上がると良い指標		5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 B	度		R 8 年 度
	KPI	時点・期間	R 4年度	時点·期間 R			R 6年度		R 7年度			R8年度
				目標値	2 件	目標値	3 <mark>件</mark>	目標値	4	件	目標値	5 <mark>件</mark>
		現状値	1 件	実績値	2 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
				達成率	<mark>100.00</mark> %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			スト	最終現計予算額	3,876 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			A F	決算額	3,516 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
	要因分	-	<b>纷长</b> / 声类 <b>夏 </b>	EOHO	<b>西記</b> )							
5年	要因分	-	総括(事業最終年度		·		- <del></del>	<del>-</del>				
年 度	要因分		見 5: 度	直し内容の 年度のKPI	D説明(維持・原 Iの実績はほぼ想 コグラミング教育	定どお		が、県	が掲げてい			万人輩出に向け、6年に規模を拡大して実施
年 度	見直し方	可性	見 5: 度 改善	直し内容の 年度のKPI 以降はプロ ることとし	の説明(維持・原 Iの実績はほぼ想 コグラミング教育 している。	定どお	りの成果が出ている	が、県	が掲げてい	6年度以	降は大幅	に規模を拡大して実施
度	見直し方	向性	見 5: 度 す	直し内容の 年度のKPI 以降はプロ ることとし	の説明(維持・原 Iの実績はほぼ想 コグラミング教育 している。 <b>事業費</b>	l定どお gの必要	りの成果が出ている 性はますます高ま <sup>-</sup>	が、県ってくる	が掲げてい ることから、	6年度以	降は大幅	に規模を拡大して実施
度	見直した現事、異	が 力 地元 の	見 5: 度 す <b>め高等学校全国</b>	直し内容の 年度のKPI 以降はプロ ることとし <b>募集促進</b> 関係を築る	の説明(維持・原 Iの実績はほぼ想 コグラミング教育 している。 <b>事業費</b> き上げ、「地域 <i>。</i>	定どお すの必要 からい音	りの成果が出ている 性はますます高まで 質学」参画費の全額	が、県ってくる 一 補助、2	が掲げていることから、	6年度以	降は大幅	に規模を拡大して実施
度	見直した。現業要	<b>えひ</b> 地元の の設置	見 5: 度 改善 <b>め高等学校全国</b> の市町と強固な信頼	直し内容の 年度のKPI 以降はプロ ることとし <b>募集促進</b> 関係を築き	の説明(維持・原 Iの実績はほぼ想 コグラミング教育 している。 <b>事業費</b> き上げ、「地域 <i>a</i> 持に熱意のある	定どお すの必要 からい音	りの成果が出ている 性はますます高まで 質学」参画費の全額	が、県ってくる 一 補助、2	が掲げていることから、	6年度以	降は大幅	に規模を拡大して実施

4 当初	事	事 I	頁	えひ	め高等学校	b高等学校全国募集促進事業費								予算主	上管課	高校教育課
			と しょうしん しょうしん しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しゅく しゅく しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し								学」参画費の			始	———— 期	R3
	根	既 戛	<del>분</del>		置等の支援を フアップし、					「地域み	りらい留学」参阅	国校の活動	を強力に	終.	———— 期	_
				_	ジョングライン 募集による											<u> </u>
			K	PI種別	上がると良い	ハ指標		R 5 年 B	度		R 6 年 度		R 7 年 5	<del></del> 芰		R 8 年 度
	k	Р		点・期間	R4.4		時点·期間	R6.4		時点·期間	R7.4	時点·期間	R8.4		時点·期間	R9.4
		Г					目標値	1	位	目標値	1 位	目標値	1	位	目標値	1 位
			玗	ままれ は は は は は は は は は は は は は は は は は は	2	位	実績値	2	位	実績値	位	実績値		位	実績値	<mark>位</mark>
							達成率	50.00	%	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				$\neg$	スト		最終現計予 算額	19,954		最終現計予 算額	千月	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
								•				決算額	Į.	千円	決算額	千円
コスト										数は順調(	こ増加(I	R5:88人→R6:112				
度	見	直し	方向	句性	維持	KP	I未達瓦	大ではある:	ものの、	全国募		らの入学	当数は順調に			→R6:112人) してお けしていない。

5	当初	事	項	エネ	ルギー教育推進	事業費	į					予算主	管課	高校教育課	1
		事	業	エネ	ルギー教育につ	いて特	色のある教育派	「動を)	<b>選している学校</b>	等に対	し、環境	始	期	H19	
		概	要	整備	などの支援を行	う。						終	期		
				当事	業により、原子	カ・エ	ニネルギーについ	て理角	ない ない はされたと	回答す	る生徒の語	割合			
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5	芰		R 8 年 度	
		KF	т	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
						目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100	%	目標値	100	%
				現状値	100 %	実績値	100 <mark>%</mark>	実績値	<u>%</u>	実績値		%	実績値		%
						達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率		%
					7 L	最終現計予 算額	10,000 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
					スト	決算額	7,926 <u>千円</u>	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
	5 年	要因分析 総括(事業最終年度の場合、要記入。)													
	度	見直	近し方	·向性	5	年度の	KPI実績はほぼ想	定どおり	牧善・大幅見直し( )の成果が出ており、 法や7年度予算の見	6 年度	夏以降も事業		踏まえる。	と目標達成す	ると考え
	2月	事	項	デジ	タル化対応教育	設備整	孫備費					予算主	三管課	高校教育課	₹
	補正	事	業	情報	、数学等の履修	を推進	するとともに、	ICTを	活用した文理横圏	断的な	探求的な	始	期	R5(繰越)	

6 2月		項	デジ	タル化対応教育	育設備整	<b>E備費</b>							予算主	管課	高校教育課	Į
補正	事	業	情報	、数学等の履何	を推進	するとと	もに、	ICTを	活用したゞ	と理横圏	新的な	深求的な	始	期	R5(繰越)	
	概	要	学び	を強化するため	り、必要	な環境整	備を図	る。					終	朝	R6	
			DXJ	(イスクール指	定校に	おけるICT	機器整	<b>E備進</b> 担	歩率(単年	度)						
			KPI種別	上がると良い指	票	R 5 年 度	ξ		R 6 年 度	Ę		R 7 年 月	度		R 8 年 度	
	k	ΡI	時点・期間	R5年度	時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
					目標値	100	%	目標値	100	%	目標値	-	%	目標値	_	%
			現状値	- %	実績値	R7.3頃判明	%	実績値		%	実績値		%	実績値		%
					達成率	-	%	達成率		%	達成率		%	達成率		%
				スト	最終現計予 算額	0	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
				A F	決算額	0	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年		要因分		国の交付決定がF 総括(事業最終 <sup>4</sup>	F度の場	<b>今、要記入</b> 。	)									
度	見	直した	方向性	維持	5 年度の 6 年度以		よほぼ想 ニーズを	!定どお を踏まえ	りの成果が	出る見込	込みであ	り、国の補			锋も継続され <sup>。</sup> 度の執行方法	

7 当初	ח	事	項	外国	国 <b>語指導助手招致事業費</b> 高校教育課 高校教育課										
		事	業	国の	協力を得て外国	青年を	招致し、高等学	校等に	おける語学指導	を 行う	ととも	始	期	S62	
		概	要	じ、	地域レベルでの	国際化	を促進する。					終	期		
				CEF	R A2レベル(女	検準 2	2級)相当以上の	)英語	りを有する高校 3	年生(	D割合				
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	芰		R 8 年 度	
	١,	K P	) Т	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度	
	1		•			目標値	52 <mark>%</mark>	目標値	54 <mark>%</mark>	目標値	56	%	目標値	58	%
				現状値	49 %	実績値	51.2 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値		%
						達成率	98.46 %	達成率	%	達成率		%	達成率		%
					スト	最終現計予 算額	157,301 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
					Λ F	決算額	142,472 <mark>千円</mark>	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年		要	因分	祈	あった。その後、 総括(事業最終年)	事業の効		年度は	51.2%となり、数	値を伸ば	<b>ばすことがて</b>				
度		見直	[ し <del>方</del>	5向性	全.	和5年	容の説明(維持・序度のKPIの実績はほ 予定であり、事業の	ぼ予定	通りの結果がでてる			6年度に(	<b>はALTの</b> )	、数を45人へ。	とさらに

8 当初	事〕	頁 愛	<b>援</b> 県産業教育振興	会補助	金					予算主	三管課	高校教育課
		業高	等学校産業教育 <i>0</i>	振興に	要する経費を補	助する	lo.			始	期	S41
	概	要		3/20/00						終	期	
		産	業教育関係の競技	大会、	コンクール等の	全国大	:会の入賞件数					
		KPI種			R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月	芰		R 8 年 度
	ΚP	時点·	■ R 4 年 度	時点·期間	R 5 年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
				目標値	39 <mark>件</mark>	目標値	41 <mark>件</mark>	目標値	43	件	目標値	45 <mark>件</mark>
		現状	值 36 件	実績値	39 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			コスト	最終現計予 算額	200 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			- /	決算額	200 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年	要团	习分析	総括(事業最終年									
度	見直し	<b>ン方向</b> 性		5年度の	KPIの実績は、ほぼ	想定ど	双善・大幅見直し(注 おりの成果が出てお な行方法や7年度予算	らり、現	状を踏まえ			KPIは目標達成する

9	当初	事	項	愛媛	県高	等学	校定時	制通信	制教	<b>枚育振</b>	興会補	助金						予算主	上管課	高校教育課	
		事	業	- ~~	<u> </u>			4u +/4- <del>-/-</del>	T	_(=1,-	-=	/□#+	. <del></del>					始	期	S38	
		概	要	局等 	字仪	正時間	<b>刮</b> 連信詞	<b>制</b> 教育	の分扱	う)興え	要する	経質を	(伸助)	9 る。	•			終	——— 期		
				定時	制通	信制記	果程にさ	おける	5全国	3生活	 体験発	表大会	 :、各和	重競技		 大会の	参加割合				
							い指標			5 年 /		T	R 6				R 7 年			R 8 年 度	
				時点・期間		R 4年		時点·期間		, 5 年度		時点·期間			•	時点·期間	· .		ト 時点・期間	R 8 年度	
		K F	I		•		-/	目標値	-	3.9		目標値			%	目標値			目標値	4.2 %	<u>/</u> /o
				現状値	3.	Ω	%	実績値	_	4.4		実績値			<del>/</del> 0	実績値		%	実績値		<del>//</del> 0 // <sub>0</sub>
				况1人1但	٥.	.0	70								%			%			<del>/0</del>
								達成率		12.82		達成率				達成率			達成率		
				⊐	ス	٢		算額			千円	算額			千円	算額		千円	最終現計予算額		千円
-					= 1 / 1 /	- <del>-</del> /		決算額 <b>7</b> 4.000			千円場合、要	決算額			千円	決算額		千円	決算額		千円
	5	要	因分		総括	(事業	最終年月	度の場(	合、要	要記入	。)										
	年 度	見直	しか	方向性		維持	5	年度の	KPI	の実績		見定どお	りの成	果がは	出ており	つ、6年				えると、KPIはE	目標達
10	当初	事	項	新時	代対	応高等	等学校记	改革推	進事	業費	i							予算主	上管課	高校教育課	
		事	業	地域社	社会の	課題な	や魅力に	着目し	た実	践的な	は特色・	魅力ある	る学びに	こ取り	)組む「	地域社	会学科」の	始	期	R4	
		概	要	設置(	こ向け	、カリ	ノキュラ	ムの開	発や	先進的	りな取組	みに係る	る研究等	手を実	施する	00		終	期	R6	
				三崎	高校	 の地2	方創生	関係の	 )大学	さ・学	部等へ	 の進学	瘞								
							とい指標			5 年 /		T	R 6	年 度			R 7 年 /			R 8 年 度	
				時点・期間			手 度	時点·期間				時占·期間	R 6			時点·期間	<u> </u>	/ <u>X</u>	時点·期間	1	
		K P	· I				- / <u>X</u>	目標値	_		%	目標値		50		目標値		%	目標値		/ <sub>6</sub>
				現状値	c	3	%	実績値			%	実績値			<del>/</del> 0	実績値		%	実績値		<del>//</del> /
				况1八但	3	9	70														
								達成率		56.00		達成率			% <del>工田</del>	達成率		% TID	達成率		<u>//                                   </u>
				コ	ス	٢		算額	)	<u> </u>	千円	算額			千円	算額		千円	最終現計予算額		千円
					=₩ /= /-·	<b>亩 / г\</b> *	± ch √ 2 4 0 0 0	決算額		<u> </u>	千円	決算額			千円	決算額		千円	決算額		千円
	5 年	要	因分	分析	高校ででしたが、 したが、 関係のか	の地域と 、5年度 大学・学	度は、教育 <sup>/</sup>	学習によ や医療、 学者は3	って、 農業等 名にと	進学希望 を通じて どまり、	望者のうちだ て地域に貢に 未達成とご	献するため								の45%(22名中10 <sup>2</sup> 対多かったことから、	
	年度	見直	した	方向性		改善	5 を	年度の 増やす	)目標: こと	達成率 で、地		よりも値り地域の	乱調であ	うった	が、6	年度に	「社会共創和	-		と連携した学習 の大学・学部等	

11	当初	事	項	理科	教育等設備充	実	責						予算主	管課	高校教育課	
		事	業	- 44	- <del>***</del>	I +/4-7	<b>5</b> /	→ ¬=□./± → ±6./±					始	期	S57	
		概	要	局等	字校等の埋料	ŀ教育 	引に関	する設備を整備	i9る。				終	期		
				理科	教育設備(備	品)	の整	備率								
				KPI種別	上がると良い排	旨標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5	·····································		R 8 年 度	
		V	D 1	時点・期間	R4年度		時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
		K	P ]				目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100	%	目標値	100 %	6
				現状値	89.7 %	%	実績値	100 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	9,	%
							達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	9	%
				<del>'</del>			最終現計予 算額	7,744 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	=	千円
					スト		決算額	6,920 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	=	千円
İ					評価年度(「遺	上成率	<u>≅</u> 100%		記入。)	)						
	5	Ī	要因	分析	総括(事業最終	 冬年度	変の場合	合、要記入。)								
	年 度	見	直し	方向性	維持	5 £	年度の	KPIの実績はほぼ想	思定どお	な善・大幅見直し( りの結果が出ており が法や7年度予算の	つ、引き	続き適切な		うことに。	より目標達成す	
12	当初	事	項	産業	教育ICT機	<b>霍器</b> 。	を備事	業費 					予算主	管課	高校教育課	
		事	業	職業	学科において実	社会	で通用	するICT技術を習得	导し、卒	業時の技術と就職	後に必要	見な技術の	始	期	H27	
		概	要	ギャ	ップを低減する	ため	、最新	のICT機器を整備す	する。				終	期		
				職業	教育に使用す		ГСТ	<u></u> シフテムの不見	今によ	る授業支障件数						
				KPI種別	I — . » —			R 5 年 度	1	R 6 年 度		R 7 年 J	<u></u>		R 8 年 度	
				時点・期間	D 4 /= r=		時占·期間	 R5年度	時占.期間	R6年度	時占,期間	R7年度	又	時点,期間	R8年度	
		K	P :		八十人		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値		件	目標値	0 作	<u>+</u>
				現状値	<u></u>		実績値	0 件	実績値		実績値	0	件	実績値		<u>'</u> 牛
					'	`	達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率		<u>'</u> %
							最終現計予	96,674 千円	最終現計予		最終現計予		千円	最終現計予算額		··· 千円
					スト		<sup>算額</sup> 決算額	96,664 千円	<sup>算額</sup> 決算額		<sup>算額</sup> 決算額		千円	決算額		<u> </u>
ŀ					評価年度(「遺						八开识		111	八开识		, I J
	5 年 度	1	要因	分析	総括(事業最終	冬年度 見ご 5 <sup>4</sup> (こか	重 し内: 年度の かけて:	合、要記入。) 容の説明(維持・バ KPI実績は目標ども 毎年度行う予定の流	廃止・改 3りの成 産業教育	z善・大幅見直し( 果が出ているため、 T I C T 機器の契約	引き続 更新の際	き保守点検 祭には、基本	スペック			
		見	直し	方向性	改善改善	期間	間を短	稲することにより、	、最新の	)職業教育環境を整	えていく	く必要がある	5.			

補正		<del>                                      </del>	学校振興計画推	進事業	鎖					予算3	主管課	高校教育課	<u> </u>
ımı	事業	令和	5年3月に策定した	県立学	校振興計画の具体の	化に向い	け、「地域に愛	され、誇れ	る学校づく	始	 :期	R5	
	概要	り」;	を着実に推進するた	ため、統	合後の学校の在りた	方を検討	するとともに	多彩で魅	力的な選択	4/5	 ·期		
			提供を実現するなど	_					. 7 4 /		· <del>·····</del>	_	
			学校振興計画の					感して			_		
		KPI種別	±/0 0 CE(1 11 15)		R 5 年 度		R 6 年度		R 7 年 5	<del></del>	nt	R 8 年 度	
	K P I	時点・期間	R4年度		R 5年度		R 6年度		R 7年度	0/		R 8年度	0/
			0,	目標値		目標値		目標値			目標値	89	
		現状値	- %	実績値		実績値	%	実績値		%	実績値		%
				達成率	100.47 %	達成率	% 	達成率 最終現計予		% ====================================	達成率		% ====================================
		⊐	スト	算額	33,271 千円	算額	千	算額		千円	最終現計予算額		千円
			■ 佐佐 / 「杏子:	決算額	24,050 <mark>千円</mark> 6未満」の場合、要	決算額	千	<mark>子</mark> 決算額	Į į	千円	決算額		千円
5	要因允	分析	総括(事業最終年)	度の場合	<b>合、要記入。</b> )								
度	見直した	方向性	5 ح	年度の	容の説明(維持・原 KPI実績はほぼ想定 れることから、 6 st	どおり	の成果が出てお	り、6年	度以降も、現			まえると目標)	達成する
5月 甫正	, ,	県立	学校振興計画校	舎等整						予算主		<b>宣达</b> 数	
							= <i>66</i> /= +   -+	<del></del>	+ <del> =  -  </del>		上日味	高校教育課	1
шЩ	事 業		学校振興計画(R5.	3決定)	に基づき、新学科							R5	1
mЩ	事 業 概 要	こと		3決定) )生徒に	に基づき、新学科 も夢や進路実現を[	目指する	ことができる教			始			1
mЩ	事 業 概 要	こと!	学校振興計画(R5. により、どの地域の	3決定) )生徒に gばれる	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取り	目指する	ことができる教			始	期	R 5	
H L	事 業 概 要	こと!	学校振興計画(R5.により、どの地域の でより、どの地域の 愛され子供たちに選 学校振興計画校	3決定) )生徒に 選ばれる <b>の整備</b>	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取り	目指する	ことができる教			始終	期	R 5	
HI III	事 業 概 要	こと( 域に)	学校振興計画(R5.により、どの地域の でより、どの地域の 愛され子供たちに選 学 <b>校振興計画校</b>	3決定) )生徒に 髪ばれる <b>の整備</b>	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取り <b>完了率</b>	目指する	とができる教 R 6 年 度	育環境を確	保し、「地 R 7 年 J	始終	期	R5 R10 R 8 年 度	
HI TE	事 業 概 要	こと 域に <b>県立</b> KPI種別	学校振興計画(R5.により、どの地域の 受され子供たちに選 学 <b>校振興計画校</b> 上がると良い指標	3決定) )生徒に 髪ばれる <b>の整備</b>	に基づき、新学科 も夢や進路実現をB 学校づくり」に取 <b>完了率</b> R 5 年 度	目指する り組む。	とができる教 R 6 年 度	育環境を確	保し、「地 R 7 年」 R 5~R7	始 終 <b></b> 年度	期期	R5 R10 R8年度	F度
m II	事 概 要 K P I	こと 域に <b>県立</b> KPI種別	学校振興計画(R5.により、どの地域の 受され子供たちに選 学 <b>校振興計画校</b> 上がると良い指標	3決定) )生徒に 選ばれる <b>の整備</b> <sub>時点・期間</sub>	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取 <b>完了率</b> R 5 年 度 R5~R5年度	目指する り組む。 <sub>時点・期間</sub>	R 6 年 度 R 5~R 6年	育環境を確 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R 7 年 J R 5~R 7 I 64.3	始 終 <b></b> 年度	期 期 時点·期間	R5 R10 R 8 年 度 R5~R8年	F度
<b></b>	事 概 要 K P I	こと 域に <b>県立</b> KPI種別 <sub>時点・期間</sub>	学校振興計画(R5.により、どの地域の でより、どの地域の 愛され子供たちに選 学校振興計画校 上がると良い指標 R4年度	3決定) )生徒に 髪ばれる <b>の整備</b> <sub>時点・期間</sub> 目標値	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取 <b>完了率</b> R 5 年 度 R5~R5年度 0 % 0 %	目指する り組む。 時点・期間 目標値	R 6 年 度 R 5~R 6年 21.4 %	育環境を確 ・	R 7 年 J R 5~R 7 I 64.3	始 終 年度 <mark>%</mark>	期 期 時点·期間 目標値	R5 R10 R 8 年 度 R5~R8年	F度 <mark>%</mark>
THE	事 概 要 K P I	こと 域に <b>県立</b> KPI種別 時点・期間 現状値	学校振興計画(R5. により、どの地域の 愛され子供たちに選 <b>学校振興計画校</b> 上がると良い指標 R4年度	3決定) )生徒に <b>の整備</b> 時点・期間 目標値 実績値	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取 <b>完了率</b> R 5 年 度 R5~R5年度 0 % 0 %	目指する り組む。 時点・期間 目標値 実績値	R 6 年 度 R 5~R 6年 21.4 % %	育環境を確 ・	R 7 年 J R 5~R 7 i 64.3	世 年度 % %	期 期 時点·期間 目標値 実績値	R5 R10 R 8 年 度 R5~R8年	F度 % %
nT.	事 概 要 K P I	こと 域に <b>県立</b> KPI種別 時点・期間 現状値	学校振興計画(R5.により、どの地域の 愛され子供たちに選 学校振興計画校 上がると良い指標 R4年度	3決定) )生徒に <b>の整備</b> 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取 <b>完了率</b> R 5 年 度 R5~R5年度 0 % 0 % 100.00 % 41,255 千円	目指する り組む。 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	R 6 年 度 R 5~R 6年 21.4 % %	<ul><li>育環境を確</li><li>度 時点・期間</li><li>目標値</li><li>実績値</li><li>達成率</li><li>円 最終現まけて 資額</li></ul>	R 7 年 月 R 5~R 7 I 64.3	度 年度 % %	期 明 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R10 R 8 年 度 R5~R8年	F度 % %
<b>無止</b>	事 概 要 K P I	こ域 県立 KPI種別 現状値	学校振興計画(R5. により、どの地域の 愛され子供たちに選 学校振興計画校 上がると良い指標 R4年度 - %	3決定) (生徒に (なれる) (中点: 期間) (中点: 期間) (中点: 東値) (実成な) (発現計) (決算額) (本) (本) (本) (本) (本) (はない) (はな	に基づき、新学科 も夢や進路実現を 学校づくり」に取 <b>完了率</b> R 5 年 度 R 5~R 5年度 0 % 0 % 100.00 % 41,255 千円 29,600 千円 6未満」の場合、要	目指する り組む。 時点・期間 目標値 実績値 達成率 <sup>最終現ます予</sup> 第類 決算額	R 6 年 度 R 5~R 6年) 21.4 % % % 千	<ul><li>育環境を確</li><li>度 時点・期間</li><li>目標値</li><li>実績値</li><li>達成率</li><li>円 最終現まけて 資額</li></ul>	R 7 年 月 R 5~R 7 I 64.3	度 年度 % % %	期 明 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R10 R 8 年 度 R5~R8年	F度 % % % %

												1		
15	当初	事 項	県立	学校ICT	活用	<b>教育</b> 環	境整備費					予算主	管課	高校教育課
		事業	「主	 体的・対話	一一	 架い学	 :び」を推進し、	 生徒の	 情報活用能力を <sup>3</sup>	 育成す	るため、	始	———— 期	R元
		3 /14		立学校にW					113110111111111111111111111111111111111	13,-,0	<b>3</b> ,2°2,	終.	 ≢R	R7
												<b>ボミ</b>	₩7	Κ/
			県立	学校ICT	'シス <del>:</del>	テムの	不具合による授	業支障	性数(減少率=遺	を成率)				
			KPI種別	170 0 0 0			R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	芰		R 8 年 度
		KPI	時点・期間	R4年原	夏 ———		R5年度		R6年度		R7年度			R8年度
						目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0	件	目標値	0 <mark>件</mark>
			現状値	64	件	実績値	57 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
						達成率	10.90 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			_	スト		最終現計予算額	107,300 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
						決算額	107,130 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
	5 年 度	要因が	分析	R4年度から	授業支 最終年序 見 Wi	障件数 を の場合 しい i-Fi関係機 関係機	合、要記入。) 容の説明(維持・原環境の利用開始から 系機器の設定を誤っ 器の交換対応を要す	発出・改 4年に 20世代 17 で 17	文換を要する障害 対応を要する障害 対応を要する障害 が変わるであるである。 では、対・ではではできるである。 では、対応ではできるできます。 では、対応できるできます。	事業組 が使い * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	替等)) 貫れた <i>こと</i> も 数は大幅に	5あり、電 減った。-	源プラグ −方で、(	依然としてある。 が抜けていたり端末・ R守点検業者によるWi- E的かつICT機器の増加
16	当初				=:	ンテス	<b>卜開催事業費</b>					予算主		高校教育課
		, ,,,			レテス	ストを	通して、生徒の	英語に	こよるコミュニケ	ーショ	ン能力の	始	期 	H26
		概要	向上	を図る。								終	期	R5
			授業	時間の半分	/以上、	生徒	による言語活動	を行っ	た学校の割合					
			KPI種別	上がると良い	い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	 芰		R 8 年 度
		K P I	時点・期間	R3年/	芰	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度
		KPI				目標値	62.5 <mark>%</mark>	目標値	%	目標値		%	目標値	%
			現状値	58.9	%	実績値	48 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%
						達成率	76.80 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				7 1		最終現計予 算額	1,056 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				スト		決算額	926 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
		要因分		※終期短縮	(なし-	→R5)		の言語活					法を生徒	に定着させるのではな
	5 年			令和6年原	度からは	は、えて			事業の中でよりよい 、活発な言語活動た					ハくこととしている。
	度 度	見直し方	方向性		見	直し内	容の説明(維持・原	廃止・改	x善・大幅見直し(	事業組	<b>替等))</b>			

17	当初	事	<u> </u>	項	高校	生おもしろ科学	コンテ	スト事業費					予算主	管課	高校教育課
			<u> </u>	業	数学	・理科等に関す	<del></del> る科学	コンテストを実	 施する	ことにより、科	 学的な	 :見方や考	始	———— 期	H26
		概				を養う教育を実							 終	 掛	
									m 1/1 **	かがなるのです。	・レエ(手)	<b>売せ</b> い用っす			
								:の自分のために、: 	坐科、		・とか里				5 0 K K
					KPI種別 時点・期間	上がると良い指標 R4年度	時点·期間	R 5 年 度 R 5年度	時点·期間	R 6 年 度 R6年度	時点·期間	R 7 年 8 R 7年度	<b>夏</b>		R 8 年 度 R 8年度
		K	Р	I	可無・利回	八十八文							0/-		90 <mark>%</mark>
					TE 1 1 /=	75.4 %	目標値		目標値	82 <mark>%</mark>	目標値		<del>%</del>	目標値	90 %
					現状値	75.4 %	実績値		実績値		実績値		%	実績値	%
	,						達成率		達成率	% TD	達成率			達成率	
						スト	<sup>算額</sup> 決算額	1,297 千円 930 <del>千円</del>	<sup>算額</sup> 決算額	千円	<sup>算額</sup> 決算額		千円	最終現計予算額 決算額	千円 千円
						<b>並価年度(「達成</b>		930   1   10   10   10   10   10   10   1		千円	<b>次异</b> 积		113	<b>次异</b> 积	113
	5		要	因分	分析	総括(事業最終年)	度の場合	今、要記入。)							
	度	見	卢	した	5向性	5	年度の	容の説明(維持・原 KPIの実績はほぼ想 考えられることから	定どお	りの成果が出ており	つ、6年	=度以降も現			えると、KPIは目標達
18	当初	事	<u> </u>	項	高校	生グローバルチ	ヤレン	ジ推進事業費					予算主	三管課	高校教育課
		事	<u> </u>	業	高校	 生の海外留学を支援	受すると	ともに、異文化を理	里解し作	 地国の人々と共生で	きる高	 校生を育成	始	期	H25
		概	H	要	する	ため、日本語スピー	-チコン	テストに出場する	毎外高校	交生との交流を図る	00		———— 終	———— 期	
	,				ᄊᄐ		<u> </u>	 ストにおける交	二十段	汗動空を海して	見サル	・I田仏を上心ができ	トった化	(井の割4	<u> </u>
									ルル14平河火 T		<b>共入ル</b>				
						上がると良い指標 D 4年度		R 5 年 度 R 5年度	n± -= #088	R 6 年度	n± #888	R 7 年 8	夏	吐上 #888	R8年度
		K	Р	I	時点・期間	R 4年度 ————		79 <mark>%</mark>	時点·期間			R 7年度	0/		R8年度
					TO 1 1 /±	0/	目標値		目標値	81 %	目標値			目標値	85 <mark>%</mark>
					現状値	— %	実績値		実績値	%	実績値		%	実績値	%
							達成率	120.38 %	達成率	% TD	達成率		% <del>工田</del>	達成率	% 
						スト	算額	6,276 千円	算額	千円	算額		千円	最終現計予算額	千円
							決算額	-7: =	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
	5		要	因允	分析	※終期短縮(なし・ 総括(事業最終年度の場 本県の発展を支えるグロ への理解が深まった。し	→R5) 合、要記 ーバル人 かし、海	材育成の促進を目的として	て、平成2! ピーチコン	5年度から本事業を実施し テストは、主催者の都合	により、「	中止やビデオ審査	<b>査での開催と</b>		用した留学を実施し、異文化 が深く関わることができなかっ
	度					見	直し内	容の説明(維持・原	発止・改	z善・大幅見直し(	事業組	替等))			

19 当	当初	事	項	高校生英語発信力育成事業費 								予算主管課		高校教育課	
		事	業	英語が堪能な人材の活用、1人1台端末を活用した海外との交流を促進することにより、教員の 指導力向上、生徒の英語による思考力・判断力・表現力や、対外発信力の向上を図る。									R5		
		概	要指										R5		
			C	EF	R A2レベル(英検準2級)相当以上の英語力を有する高校3年生の割合										
			KI	PI種別	№ 上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度			R 8 年 度	
		КР		点・期間	R4年度	時点·期間	R 5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度	
		IX I				目標値	52 <mark>%</mark>	目標値	54 <mark>%</mark>	目標値	56	%	目標値	58 <mark>%</mark>	
			現物	狀値	49 %	実績値	51.2 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%	
						達成率	98.46 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%	
		_		_	   ス ト	最終現計予 算額	5,951 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円	
					~ I'	決算額	5,056 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円	
	5 丰	要因分		祈	※終期短縮(R7→R5)令和元年度に43.9%であったCEFR A2レベル相当以上の英語力を有する高校3年生の割合は令和4年度に49.0%となり、R5年度は51.2%まで上昇した。目標値の52%には0.8%不足する結果となった。 総括(事業最終年度の場合、要記入。) 文部科学省により実施される英語教育実施状況調査では継続して数値を上げることができ、本県の高校生の英語力の向上に寄与することが出来た。今後は事業の形を変え、本県の英語教育の改善につながるようにしていきたい。  「見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等))										
J	ES .	見直	し方向	列性	j	出世し内	合い説明(維持・序	€IE • C	X苦・入幅兄但し(	<b>事</b> 耒紐1	当 <b>寺</b> ))				